

介護職員等特定処遇改善加算への取り組み状況報告

お知らせ

地域密着型デイサービスそよかぜは、「ご利用者様に安全なサービスを提供する為には、自分達自身も心豊かに、安心して働くことができる職場環境と待遇を目指す」と考え、介護職員の処遇改善に取り組んでいます。

【取得状況】

介護職員等処遇改善加算Ⅱ（新加算Ⅱ）

特定処遇改善加算の算定要件の1つに「見える化を行っていること」という項目があります。これは処遇改善の取り組みについて、厚生労働省の「介護サービス情報公表システム」やホームページへの掲載を通じて、広く一般に公表されていることが必要となります。

介護職員等特定処遇改善加算への取り組み状況

職場環境要件の提示について

見える化要件に基づき、特定加算の取得状況を報告し、賃金以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容を下記に掲示いたします。

職場環境要件項目

区分	内容	取組
入職促進に向けた取組	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者当にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	あり
	職業体験の受入れや地域行事の参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	あり
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	あり
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	誓約
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	誓約
	有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標	あり
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	誓約
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	あり
生産性向上のための取組	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	誓約
	5S 活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている	誓約
	業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。	あり
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	あり
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	あり